

ラインメール青森FCがキャンプに

日本フットボールリーグ（JFL）所属の「ラインメール青森FC」が2月7日（木）、今シーズン初のキャンプ地として黒潮町を訪れ、歓迎式典が行われました。

式典では、大西勝也町長より「今シーズンを勝ち切り、次のステージへアップするためのキャンプにしてほしい」と激励がありました。同FCの望月達也監督からは、「今シーズンはJリーグに上がる勝負の年。シーズン後いい報告ができるよう、コンディションを整えるいいキャンプにしたい」とあいさつがあり、意気込みを示しました。青森県ではこの時期、雪などの影響で外で練習ができないそうので、式典後、選手は今年初となるグラウンドでの練習を行いました。



式典で挨拶をする望月監督

キャンプは2月12日（火）まで行われ、トレーニングに励みました。

人権まつり開催

人権まつりが佐賀・大方地域で開催されました。

第30回目となる「横浜解放まつり」は、1月26日（土）、「解放運動の熱と光を未来へ」のテーマで佐賀町民館で行われました。

午前の部は、開会式典の後、比留間光悦さんによる記念講演「夢の線路はどこまでも」からスタート。比留間さんの体験談を交えながらギターやピアノによる弾き語りや披露され、観客も一緒に歌ったり、タップダンスをしたりし、会場は一体感に包まれました。講演後、比留間さんは「佐賀の人の温かさ、人と人のつながりを感じた」と笑顔で話しました。

その後、佐賀保育所の園児による発表が行われ、午後からは佐賀中学校吹奏楽部による演奏、中学生による人権作文の発表、和太鼓・コーラスなどの演奏がありました。



比留間さんによる記念講演の様子

大方地

域では、

2月2日

（土）、「大

方人権ま

つり」が

ふるさと

総合セン

ターで開

催されま

した。

今年の

テーマは、

「未来」

笑顔の花

」。大方中学校吹奏楽部による演奏から午前の部が始まり、小学生の人権作文の発表や、大方中央保育所の園児による歌と踊り、浜松解放子ども会の活動紹介などの発表が行われました。

午後の部は、徳島県を拠点に音楽活動をする男性2人組ユニット・HILL STONEによる「音楽の力〜みんなで繋げよう明日へ!」と題した人権コンサートが行われました。東日本大震災を経験し、二人が感じた絆や命の大切さについて、観客も熱心に耳を傾けていました。



フライングディスクで遊ぼう

1月31日（木）、土佐西南規模公園体育館にて、「フライングディスクで遊ぼう」が開催され、老人クラブや福祉施設から約40人が参加しました。

「フライングディスク」とは、プラスチック製の円盤を投げるスポーツのこと。取り組みやすさから、全国障害者スポーツ大会の正式競技となったスポーツです。今回のイベントは、「年齢や障害の有無に関わらず楽しめるスポーツを広めたい」と社会福祉協議会の主催により開催されました。

参加者は、高知県障害者フライングディスク協会の大石雅省さんから、投げ方や受け方について教わった後ペアとなり、実際にディスクを投げあいました。

参加した生駒進さんは、「まっすぐ飛ばすのは難しかったが、体を動かして楽しめた。このようなイベントに多くの人に参加してほしい」と話しました。同イベントは2月9日（土）にも開催され、約50人が楽しみました。



ディスクを投げあう参加者